

Cisco Unified Personal Communicator を使用した メッセージの送信

- [インスタントメッセージの送信、7-2 ページ](#)
- [インスタントメッセージの受信、7-4 ページ](#)
- [メッセージ オプションの選択、7-5 ページ](#)
- [メッセージの保存、7-6 ページ](#)
- [電子メール メッセージの送信、7-7 ページ](#)

インスタントメッセージの送信



(注) 組織によっては、この機能を使用できない場合があります。

手順

- ステップ1 リスト内の名前をクリックします。
- ステップ2 [IM の送信] アイコンをクリックします。
- ステップ3 メッセージを入力します。
- ステップ4 **Return** キーを押します。

トラブルシューティング ヒント

- Cisco Unified Personal Communicator の設定によって、会社のディレクトリや連絡先リストのどの人物にインスタントメッセージを送信できるのかが決まります。
- メッセージの受信者が Cisco Unified Personal Communicator にログインしていないときでも、[IP Phone Messaging](#) を使用するように設定されている場合は、受信者の Cisco Unified IP Phone にメッセージを送信できます。そうでない場合、プレゼンス [ステータス](#) がオフラインの連絡先とはインスタントメッセージを開始できません。
- 連絡先リストの名前をダブルクリックするとインスタントメッセージを開始するように設定できます。相手は Cisco Unified Personal Communicator を介してインスタントメッセージを受信する必要があります。
- タブを閉じるには、タブ内のプレゼンスステータスインジケータをクリックします。

- ユーザの会社は、他の特定の会社の従業員との Cisco Unified Personal Communicator を介したインスタントメッセージの交換を許可する場合があります。インスタントメッセージセッションを開始するには、まず受信者を連絡先に追加する必要があります。受信者は、受信者のプレゼンスステータスを表示するためのユーザの要求を承認する必要があります。

関連トピック

- [インスタントメッセージの受信、7-4 ページ](#)
- [ダブルクリック操作の選択、1-13 ページ](#)
- [インスタントメッセージに関する問題の解決方法、10-23 ページ](#)
- [メッセージオプションの選択、7-5 ページ](#)

インスタントメッセージの受信

- 自分とのインスタントメッセージセッションを特定のユーザが開始できないようにすることができます。ただし、このような相手とのインスタントメッセージセッションを開始した場合、ユーザがセッションのメッセージウィンドウを閉じるまで相手は応答することができます。
- デフォルトでは、すべてのインスタントメッセージセッションを1つのウィンドウ内のタブに表示するように設定されています。
- インスタントメッセージセッションが進行中で、他のユーザからメッセージが届くと、既存のタブの背後に新しいタブが作成され、新しいメッセージが同じウィンドウ内に表示されます。メッセージを表示するには、新しいタブをクリックします。
- ユーザの会社が他の会社の従業員との Cisco Unified Personal Communicator を介したインスタントメッセージの交換を許可している場合、ユーザはユーザのプレゼンスステータスを表示するための相手の要求を最初に承認する必要があります。

関連トピック

- [連絡先のブロック、2-11 ページ](#)
- [インスタントメッセージに関する問題の解決方法、10-23 ページ](#)
- [ユーザのプレゼンスステータスを他の会社の従業員と共有する方法、2-13 ページ](#)

メッセージオプションの選択

手順

ステップ 1 [Cisco UPC] > [環境設定] の順に選択します。

ステップ 2 [IM] をクリックします。

ステップ 3 オプションを選択します。

トラブルシューティング ヒント

- メッセージ ウィンドウ上部のツールバーをカスタマイズしたり折りたたんだりできます。Control キーを押しながらツールバーの領域をクリックして、オプションを選択します。
- Web ページなどからコピーアンドペーストした HTML コンテンツに埋め込まれている URL を、メッセージの受信者がクリックしたり、表示したり、コピーしたりできるようにする場合は、[送信メッセージにリンクを表示する] にチェック マークを付けます。
- 1つのウィンドウ内のタブに表示するのではなく、各ユーザとのセッションを独立したウィンドウに表示するには、[新規メッセージを別タブで作成する] のチェック マークを外します。
- それぞれの相手とのインスタント メッセージ交換の通信履歴のテキスト(最大 99 件) を、同じコンピュータ上でのその相手との続きのセッションに含めるには、[新しいチャットの履歴メッセージを表示する] にチェック マークを付けます。別のコンピュータを使用する場合は、このオプションをリセットする必要があります。

メッセージの保存

- [すべてのメッセージセッションの自動保存、7-6 ページ](#)
- [メッセージの保存、7-6 ページ](#)

すべてのメッセージセッションの自動保存

手順

- ステップ 1** [Cisco UPC] > [環境設定] の順に選択します。
- ステップ 2** [IM] をクリックします。
- ステップ 3** [自動的にチャットの記録をログするフォルダロケーション] にチェック マークを付けます。
- ステップ 4** (オプション) 別のフォルダの場所を指定します。
-

トラブルシューティング ヒント

- この設定は、このコンピュータ上の自分のセッションにのみ適用されます。
- チャットの記録が保存されるデフォルトの場所は、ドキュメント フォルダ内の **Cisco UPC-ChatTranscripts** フォルダです。

メッセージの保存

手順

- ステップ 1** 保存するセッションをアクティブなウィンドウ (メッセージ ウィンドウ内で手前に表示されているタブ) にします。
- ステップ 2** [ファイル] > [IM を別名で保存] の順に選択します。
-

電子メール メッセージの送信

Cisco Unified Personal Communicator にログインしていないユーザに電子メールメッセージを送信できます。複数の連絡先を選択して、1 つの電子メールをそのすべてに送信できます。

手順

ステップ 1 名前を Control キーを押しながらクリックします。

ステップ 2 [電子メールの送信] を選択します。

トラブルシューティング ヒント

連絡先リストの名前をダブルクリックすると新しい電子メールメッセージを開くように設定できます（この相手の連絡先カードに電子メール アドレスが含まれている場合）。

関連トピック

- [ダブルクリック操作の選択、1-13 ページ](#)

■ 電子メール メッセージの送信